



2024年2月14日

各位

会社名 株式会社ケイファーマ  
代表者名 代表取締役社長 福島 弘明  
(コード: 4896、東証グロース)  
問合せ先 取締役 CFO 松本 真佐人  
(TEL. 03-6629-3380)

営業外費用及び特別損失の計上並びに  
2023年12月期通期業績予想値と実績値の差異に関するお知らせ

当社は、2023年12月期第4四半期会計期間（2023年10月1日～2023年12月31日）において、下記のとおり営業外費用及び特別損失を計上いたしました。また、2023年10月17日に公表いたしました2023年12月期通期業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業外費用及び特別損失の内容

(1) 営業外費用

2023年10月17日付で東京証券取引所グロース市場に上場したことに伴い、証券会社に対する報酬の支払い等により株式公開費用6,000千円を、また増資に係る登録免許税の支払い等により株式交付費8,655千円の合計14,655千円を2023年12月期第4四半期会計期間に計上した結果、当事業年度で21,939千円を計上いたしました。

(2) 特別損失

減損の兆候が存在する資産グループについては、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、足元の業績動向を踏まえ将来の回収可能額を慎重に検討した結果、固定資産による減損損失6,610千円を2023年12月期第4四半期会計期間に計上した結果、当事業年度で43,107千円を計上いたしました。

2. 2023年12月期通期業績予想値と実績値の差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A)	1,000	302	266	180	17.69
実績値 (B)	1,000	366	344	260	25.42
増減額 (B-A)	—	63	77	79	
増減率 (%)	—	21.1	29.2	43.9	
(ご参考) 前期実績 (2022年12月期)	—	△353	△359	△392	—

(差異の理由)

2023 年 12 月期通期業績予想値と実績値との間で差異が生じておりますが、この要因は販売費及び一般管理費の減少が主要な要因となっております。

販売費及び一般管理費の主な減少要因としては、研究開発費における業務委託先との委託内容の見直しや業務効率化および原材料及び貯蔵品の購入金額をコントロールしたことによる費用削減となります。

この結果、営業利益、経常利益、当期純利益は予想数値を上回る結果となりました。

以上